

第 120 回素粒子原子核研究所運営会議議事要旨

日 時 令和 3 年 10 月 13 日（水） 10 時 00 分～12 時 30 分

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室＋リモート（Zoom）併用

出席者 花垣議長、浅井委員、飯嶋委員、五十嵐委員、市川委員、後田委員、宇野委員、大西委員、荻津委員、川越委員、久世委員、小松原委員、塩澤委員、瀬戸委員、高橋委員、田島委員、田村委員、飛山委員、永江委員、中野委員、中村哲委員、中村隆司委員、橋本委員、藤井委員、松本委員、三原委員
オブザーバー
齊藤素粒子原子核研究所長、足立理事、内丸理事、岡田理事、幅理事、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、住吉監事、藤澤総務部長、五味田研究協力部長、西財務部長、幸田参事役・総務課長、櫻井人事労務課長、坪研究協力課長、柴沼監査室長

配付資料

1. 第 118 回素粒子原子核研究所運営会議議事要録
2. 第 119 回素粒子原子核研究所運営会議議事要録
3. 人事異動
4. 博士研究員の選考結果について
5. 研究員の選考結果について
6. J-PARC PAC Approval Summary

別途配信資料

- ・教員人事（素核研 21-1（実験）・講師 若干名）
- ・教員人事（素核研 21-2（実験）・研究機関講師 若干名）

議 事

1. 前回議事要録の確認
花垣議長から、資料 1 及び資料 2 の前回議事要録案（第 118 回及び第 119 回）について説明があり、原案どおり了承された。
2. 所長等報告
 - （1）人事異動
齊藤所長から、資料 3 に基づき報告があった。
 - （2）博士研究員の選考結果について
齊藤所長から、資料 4 に基づき報告があった。
 - （3）研究員の選考結果について
齊藤所長から、資料 5 に基づき報告があった。
<主な質疑応答等>

・J-PARC は制度上の問題で、日本学術振興会特別研究員を受け入れられないという問題があったと思うが、今後、受け入れが可能になるように検討してほしい。

→雇用関係、勤務先又は健康保険に関する問題があって受け入れられなかった。健康保険については、本年3月から日本学術振興会の制度が変更になり、適用されることになったが、他の点では課題が残っているため、引き続き検討したい。

・今後、KEK において日本学術振興会特別研究員を受け入れる場合には、必ず研究員として受け入れを行うということか。科研費の助成を受けている者のみを研究員の身分で受入れるという取扱いになってしまうと、科研費の助成を受けていない者との間に差が生じることを懸念している。

→基本的に、研究員として受け入れる方向で提案しつつ、案件に応じて適切に対応していきたい。

(4) 第32回大強度陽子加速器における原子核素粒子共同利用実験審査委員会審査結果について
齊藤所長から、資料6に基づき報告があった。

(5) 所長報告

齊藤所長から、資料に基づき報告があった。

<主な質疑応答等>

・運営体制の変更について、ハドロングループを一つにまとめる理由を教えてください。今後、ハドロングループのリーダー1名が、特定の会議への参加や人事提案を担当することになるため。

→体制を変更することによって、ハドロンの各グループ間での連携や協力ができなかった事項に対応できるようになると考えているため。従来のリーダーも会議等へ参加してもらいつつ、所長室でも綿密にフォローアップしていく。なお、ハドロングループを統一した場合 Belle グループと同じ人数規模になる。ハドロングループを統一することで、各研究グループ間での協力や人員・研究の横断的な把握が可能となり、有機的な運営ができるようになることを期待している。

・運営会議のオープンセッションは、いつから開始するのか。全体の所要時間は今と変わらず2時間程度か。

→次回の運営会議から開始する。オープンセッションを設けることにより、運営会議の審議の時間が、現状より少し圧縮されることはご承知おきいただきたい。従来のプロジェクト報告の時間は短縮される予定。

・今年度中の本運営会議について、今後、今年度末までの残りの日程調整をするのはいかがか。

→承知した。

・オープンセッションの目的や考え方を教えてください。

→情報伝達と意見集約。今まで実施したタウンミーティングでは、参加者が発言しづらい側面もあったため、新たに意見集約の場を設けたいと考えている。

・オープンセッションへの参加条件はあるか。

→関連するコミュニティのメンバーであれば参加可能。

・Zoom で実施することが前提となっているが、コロナが収まった後も同様か。

→会場と Zoom のハイブリッド方式としたい。KEK 小林ホールと Zoom の併用をイメージしている。

(6) 各プロジェクト報告

①SuperKEKB 報告

飛山委員から、SuperKEKB の状況について報告があった。

②Belle と Belle II 報告

後田委員から、Belle と Belle II の状況について報告があった。

③J-PARC 報告

小松原委員から、J-PARC の状況について報告があった。

④WPI

羽澄昌史素粒子原子核研究所・教授から、WPI（世界トップレベル研究拠点プログラム）の状況について報告があった。

3. 審 議

(1) 教員人事（素核研 21-1（実験）・講師 若干名）

花垣議長から、別途配信資料に基づき説明があり、講師 1 名の審議が行われた。

(2) 教員人事（素核研 21-2（実験）・研究機関講師 若干名）

花垣議長から、別途配信資料に基づき説明があり、研究機関講師 2 名の審議が行われた。

以上